

特集

川づくりサミットin高槻“めざそう清流”を開催!!



11月18日(土)・19日(日)、芥川俱楽部と高槻市が「川づくりサミットin高槻 “めざそう清流”」を開催。たくさんの来場者にお越しいただきました。芥川リバーオッチング・川と里山をテーマとした市民環境講座がとくに大人気。また、地元北部地域のイベントの他、仙台・佐賀・横浜から川づくり先進事例を紹介。鵜飼で有名な長良川の鵜匠さん、そして鵜にまでもゲスト出演。全国ネットの本格的なサミットとして大成功をおさめました。同時開催の「北大阪・こども水辺サミット」では、地元の小学生たちの水辺に関する作品展示、さまざまな発表・展示とともに、水辺コンサートやペーパークラフトで楽しみました。



芥川リバーオッチング。淀川管内河川レンジャーの中島敏明氏らと一緒に、鷺打橋から城西橋までを歩き、芥川の自然をさまざまな角度から観察。約40名が参加しました。



関連行事・環境部主催の市民環境講座「みんなで考えよう・川と里山」。市内の川や里山で活動するメンバーの、記念すべき初のトーク会でした。



北大阪・こども水辺サミット～「私の水辺」大発表会 北部地域交流会。子どもたちが日頃取り組んでいる川や水辺についての学習発表を元気よく行い、自分たちが思い描く川



の絵や作文の展示をしました。また、大阪市水道記念館の横山達也氏からは、芥川の川魚紹介もいただき、みなさん熱心に耳を傾けていました。



芥川俱楽部恒例のペーパークラフト教室は、子供たちとファミリーに大人気でした。



芥川俱楽部代表・田口圭介氏からは、芥川での取組を紹介。「交流を通じてネットワークを図り、持続可能な川づくりを推進しよう」と、宣言文を朗讀して閉会しました。



高槻スカウト連絡会により、ボーイスカウトの実演・展示。火起こしゲームや歩測、キャンプテントの展示など、野外活動の魅力を披露していただきました。



高槻太鼓、高槻市少年少女合唱団の出演。会場は大いに盛り上がりいました。



★特別講演会★

宮内庁式部職鵜匠として長良川で45年間、休むことなく鵜飼を続けてこられた山下純司氏にお越しいただき、川とのかかわり方、自然に対する考え方などについて、人情味あふれるお話を聞くことができ、来場者は楽しく有意義な時間を過ごしました。

川づくりフォーラムでは、高槻市長を特別ゲストに迎え、5グループからの先進事例を紹介。各地の取組や課題点などを話していただきました。また、コメントーターの兵庫県立大学・中瀬勲教授にも学識経験者の立場からお話をいただき、川づくりの取組と協働の大切さを学びました。

・宮城県広瀬川・仙台市建設局広瀬川創生室の遠藤守也氏
・水環境ネット東北の高橋万里子氏
・横浜市鶴見川・鶴見川流域ネットワーキングの平山康弘氏
・大阪府寝屋川・ねや川水辺クラブの上田豪氏
・佐賀県松浦川“アザメの瀬”・アザメの会の大草秀幸氏
皆様、ありがとうございました!

第2回・芥川倶楽部 総会が無事終了 新年度へ向けて新たなスタートをきりました。



主な活動報告と議案

■平成17年10月

魚の移動経路確保のため、門前橋下流側の「実験簡易魚みち」設置し、遡上を確認。

■平成17年11月

芥川の啓発活動の一環として「芥川・水辺フェスタ」を開催。

■平成18年3月

JR鉄橋下流においても「実験魚みち」第2弾を設置。

■同年3月

ライオンズクラブ、たかつき環境市民会議・芥川美化奉仕会、地元自治会、行政・企業の組合等も加わり、芥川クリーンアップを実施。

※上記の取り組み他が評価され、国の制度である「平成17年度全国都市再生モデル調査」にも選定され、全国から注目される。

■清流サミット(仮称)の実施計画(案)

■継続的な活動として、特定外来生物駆除作業やクリーンアップなどを行う。

■大阪府「地域の魅力・顔づくりプロジェクト」の活用による予算確保や団体等からの協賛金収入などを原資として、予算案を作成し、各種事業に取組む。

■芥川創生基本構想(案)等々。



平成18年7月7日(川の日)18時より、高槻市役所総合センターで平成18年度定例総会が行われました。関係団体・アドバイザーの先生をはじめ、国土交通省・大阪府・高槻市の参加も含め、総数75名以上が参加。来賓の挨拶から始まり、代表の田口圭介氏が発足から現在までの取り組み、今後の抱負を語った後、規約改定等の説明や各議案は会場の拍手をもって承認されました。副代表の中島敏明氏からは、17年度の活動実績、さまざまなエピソードを交えた報告があり、副代表の岡山雅彦氏による閉会の挨拶で無事総会が終了しました。



ミズヒマワリ駆除大作戦! 「広報啓発」活動を続けます。



近年、芥川では、背丈約1mのミズヒマワリ(特定外来種)の生息が目立っています。このまま放置しておくと、在来種を圧迫する恐れがあると言われています。芥川倶楽部は6月18日・11月26日にあいあい芥川の前で、この植物の駆除とともにクリーンアップ作戦を行いました。芥川のミズヒマワリの繁殖程度は「現在、駆除すれば、大きな問題にならないレベル」と言われています。ただし、駆除する際に、葉・根が流れ出すと、逆に分布を拡散させる心配があるため、細心の注意で作業が行われました。



「ひとと魚にやさしい川づくり」魚みち部会 「調査・研究」部会が開かれています。

実験魚道からはじまり、豊富なデータと自信を深めた「魚みち」。本格的な実験施工に向けて、学識者・有識者たちと芥川倶楽部メンバーが討議する「魚みち部会」がスタートしました。

※詳細は、議事録と芥川倶楽部ホームページをご覧ください。



芥川「水辺の学校」開催! 「環境・啓蒙教育」を軸に芥川を学びます。

あくあいあ芥川前で生き物調査実施。子供達からは水に入るだけでも歓声があがりました。魚が良く生息し、危なくないところをつくりあげる事も、大切な仕事だな~と感じました。子供達の感性を豊かにするために環境学習は、様々な人の助けを借りながら進めて行くべきものと思います。当初予定していた水質調査(パックテスト)は天候の関係で教室にて実施。



※採れた魚を子供達が持て帰りたいと言ったのですが、学校にて、教師・子供達が魚の世話について話し合い、あくあいあ芥川飼育してもらう事になりました。